

# わくわく中部

中部教育局社会教育担当だより  
令和6年7月1日発行



写真:モリアオガエルの卵(琴浦町 船上山ダム)

## 7月の主な行事予定

- 4日(木)市町村社会教育主事および社会教育担当職員研修会
- 26日(金)鳥取県地域コーディネーター養成講座 基礎編2
- 30日(火)中部地区人権教育懇談会②
- 31日(水)鳥取県図書館大会

- (上井コミュニティセンター)
- (倉吉体育文化会館)
- (はごろも苑)
- (エスパック未来中心)

## ちゅうぶくんが行く!

中部のヒト・モノ・コトを訪ねて



## 小鴨コミュニティセンター (倉吉市)



小鴨小学校のとなり、小鴨コミュニティセンターに行ってきました。訪問した日は「男のクラブ」の日。コーヒーのいい香りがたちこめる中、倉吉博物館の方から地域の画家「中井金三」の話をはじめ、農林水産省の方、地域の方のお話を聞きました。皆さんのお話が終わった後、展示されていた「太一車」のすごさを聞いて、またびっくり。初めて知る事ばかりで、驚きっぱなしでした。アカデミックな雰囲気と、地域ならではの温かい雰囲気を感じる、ほっこりした訪問となりました。



こだわりのコーヒー  
豆で、いい香り!



小鴨の偉人、中井太一  
さん考案の「太一車」!



参加費100円でおいしい  
コーヒー付!「男のクラブ」





もっと知りたい!

生涯学習



生

生涯学習という言葉は、一般には、人々が生涯に行うあらゆる学習、すなわち、学校教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味など様々な場や機会において行う学習の意味で用いられます。また、「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。」とされています。(改正教育基本法第3条)

生涯学習とは、

- ・人々が生涯に行うあらゆる学習。
- ・個人、集団、社会の向上のために、生涯を通じて人間的、社会的、職業的な発達を図る営みのこと。

まとめ



ちゅうぶくん

~ちゅうぶくんは情報マン!~

7月3日から日本のお札が新しくなるのみんな、知ってるかなあ?



世の中の事に関心を持つ事は良い事だ。その偉大な人たちを調べてみたら。



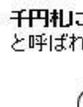
では、ここで僕が新お札の人物を紹介しちゃいます!



一万円札は500もの企業設立などにかかわり、日本近代社会創造者とされる**渋沢栄一**



五千円札には、女性の地位向上と女子教育に尽力した教育家**津田梅子**



千円札には細菌学者で、近代日本医学の父と呼ばれる**北里柴三郎**



昔から社会の発展に頑張ってきた人たちが平和で暮らせるんだよね。感謝しないとイケないね。



お兄ちゃん 毎年の様に ならへんか 心配たわあ! (妹のぼやき)



調子だけは「等寛真体」はまだまだ先なの!

ひらめいたよ この人達を、もっと詳しく調べて夏休みの自由研究にしよう! がんばるぞ!



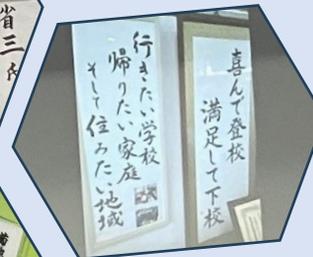
PTA役員研修会がありました! 6月23日(日) 倉吉市

昨年度まで東中西で別々に行われていたPTA役員研修会は、今年度は中部でまとめて開催されました。

全体会の講演会は、「ほめ言葉のシャワー」で有名な菊池省三先生。とても分かりやすく、笑顔いっぱいの楽しい講演でした。「上機嫌は大人のマナー」「不機嫌は罪」という言葉がとても印象的でした。生徒たちの前で時々、不機嫌な顔をしていた過去の自分を省みて、恥ずかしく感じました。

子どもたちの笑顔のために、子どもたちの未来のために、示唆に富んだお話でした。

各学校のPTAの方々、先生方がたくさん参加され、賑やかで実りある研修会となりました。



【あとがき】 「ある高校の先生からの相談」

夏休みに、小中学生の学習支援や活動支援で、高校生ボランティアが地域で活動する事業が、学校や児童館、コミュニティセンターなどで取り組まれ、年々増えてきています。その取組に関して、ある高校の先生から相談を受けました。「取組が定着してきていて、楽しみにしている高校生もいる。でも、高校に文書が届くのも、メ切日もバラバラで困っている。発出日やメ切日を合わせるなど、各団体で調整していただけるとありがたい。自宅から遠いところに申込した後で、自宅近くの募集が来て、楽しみにしていた生徒が困っていたというケースもある。他の高校も困っているのでは…。」という内容でした。

全国的に高校生の力を活かす活動は、広がりを見せているようです。高校生が活躍できる地域を作るために、大人は何をすべきだろう…と考える毎日です。



まずは対話かなあ…